

■ 中間評価（地域再生計画）

文化と芸術が織りなす活力あるみなとづくり計画

地域再生計画（地方創生港整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	香川県	事業実施主体	香川県、高松市	地域再生計画名	文化と芸術が織りなす活力あるみなとづくり計画
計画期間	令和3年度～令和7年度	評価責任者	香川県水産課長、高松市河港課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	年度	中間実績	基準年度	年度	指標総数		達成数			
	指標1	男木島、女木島、大島への来島者	13.3万人	H30年度	13.4万人	R5年度	15.4万人	13.7万人	R7年度	○	2	2	中間目標値を15%程度上回っており、最終目標値も達成している。引き続き計画に即した整備を図り、最終目標の達成を目指す。
	指標2	庵治漁港の陸揚げ量	1778t/年	H30年度	1778t/年	R6年度	1859t/年	1778t/年	R7年度	○	2	2	中間目標値を5%程度上回っており、最終目標値も達成している。整備も完了しており、目標達成の見込みである。
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
			計画	中間年度（R5）	最終実績見込み								
特別措置を適用して行う事業	地方創生港整備推進交付金（大島港）		322m	139m	322m	当初計画に対し、整備延長（外郭施設・保留施設）から見る進捗率は、約43%であるが、R7年度に整備を完了する見込みである。							
	地方創生港整備推進交付金（女木港）		2基	0基	2基	当初計画に対し、整備量から見る進捗率は0%であるが、現在整備を進めており、R6年度に整備を完了する見込みである。							
	地方創生港整備推進交付金（男木港）		1基	0基	1基	当初計画に対し、整備量から見る進捗率は0%であるが、R7年度に整備を完了する見込みである。							
	地方創生港整備推進交付金（庵治漁港）		1基	1基	1基	当初計画に対し、整備量から見る進捗率は100%であり、整備は完了した。							
その他の事業	瀬戸内国際芸術祭		「海の復権」をテーマに瀬島の魅力を再発見し、世界に向けて発信するイベント			2010年から3年に1度開催しているが、2022年も開催し、多数の作品を展示している。							
	庵治漁港「活き活き日曜市」		毎週日曜日に一般の方も利用できる日曜市を開催			地産の魚や魚介類の鮮度や味の良さ等を知ってもらうため実施する。ただし、計画期間の令和3年度以降は、コロナ禍により、日曜市を休止しており、現在は再開に向けて調整中である。							
	オリーブハマチ等の水産物のブランド普及拡大		ブランド普及拡大を図るため、県内在住の方を対象にオリーブハマチ漁業体験等を実施			毎年（令和3、4、5年度）イオン高松にて、オリーブハマチ祭りを開催している。令和5年度は庵治・太鼓の鼻海岸にて、地引網漁業体験を実施した。							
計画外で独自に実施した事業	該当なし												
③評価方法	香川県公共事業評価委員会を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。												
④中間評価の公表方法	高松市河港課のホームページに掲載												
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画は、港整備交付金を活用し4港（3港湾・1漁港）を一体的に整備することにより、瀬戸内国際芸術祭への円滑な来訪を確保するとともに、来訪者等の観光客への地域水産物の安定供給を図り、併せて、瀬戸内国際芸術祭のPR・関連イベントや「オリーブハマチ」等の水産物のブランド普及拡大を行い、地域経済の活性化を図ることを目的としている。各指標については、目標達成の見込みであるため、目的である地域経済の活性化への基盤となる本計画における一連の施設整備は、効果があったものと考えられる。												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容							
	地域再生計画の見直し（有・ 無 ） 令和7年度予算要望額への反映（有・ 無 ） 有りの場合の増減額 千円												
⑦今後の方針等に対する対応	本地域再生計画においては、来島者の増加並びに漁港における陸揚げ量の維持において、目標達成が見込まれることから、今後も引き続き、本地域再生計画に沿って事業を推進していく。その他の事業についても引き続き事業を推進し、交付金事業の効果を高めていく。												

中間評価書参考資料

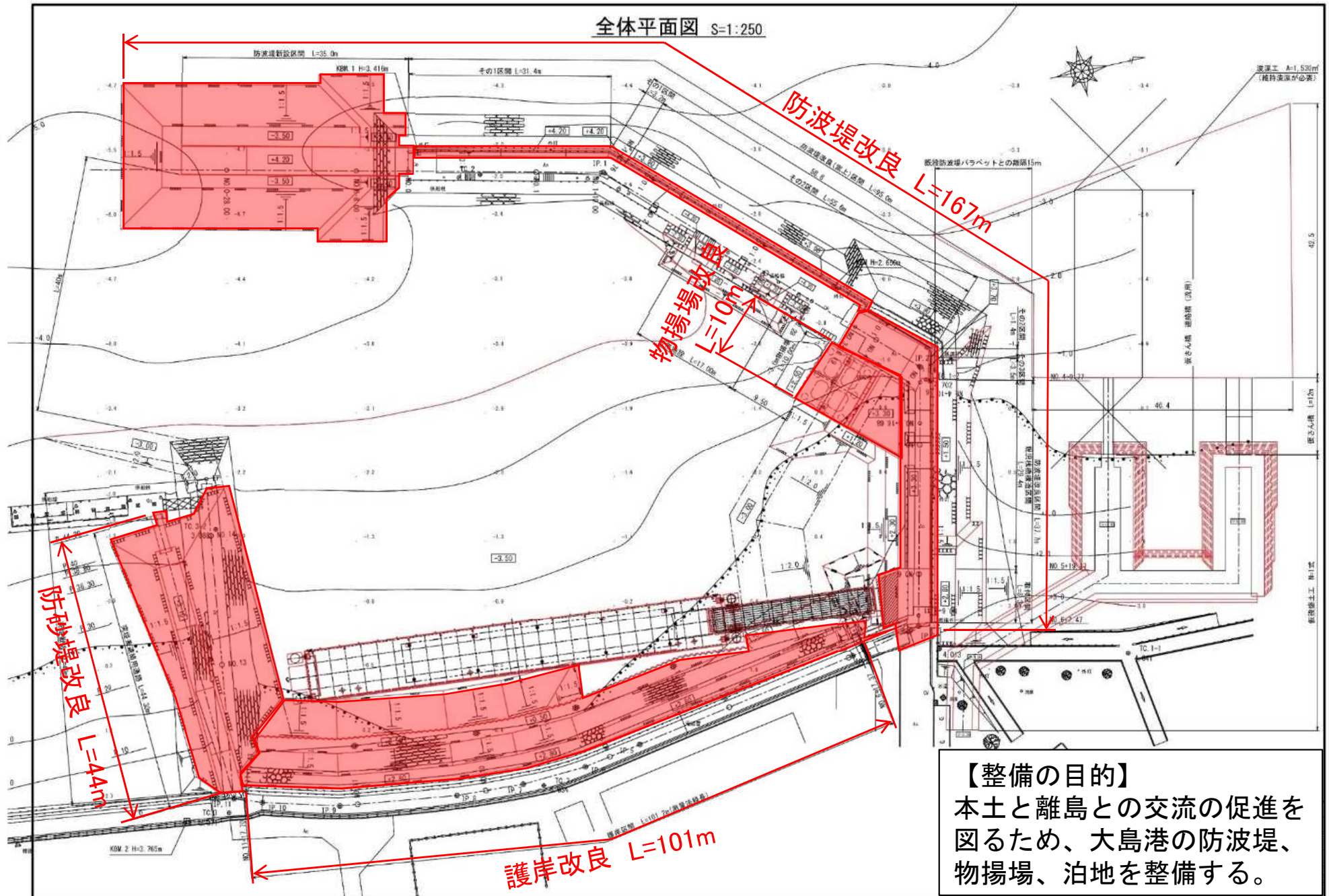
■ 中間評価（地域再生計画）

文化と芸術が織りなす活力あるみなとづくり計画

位置図



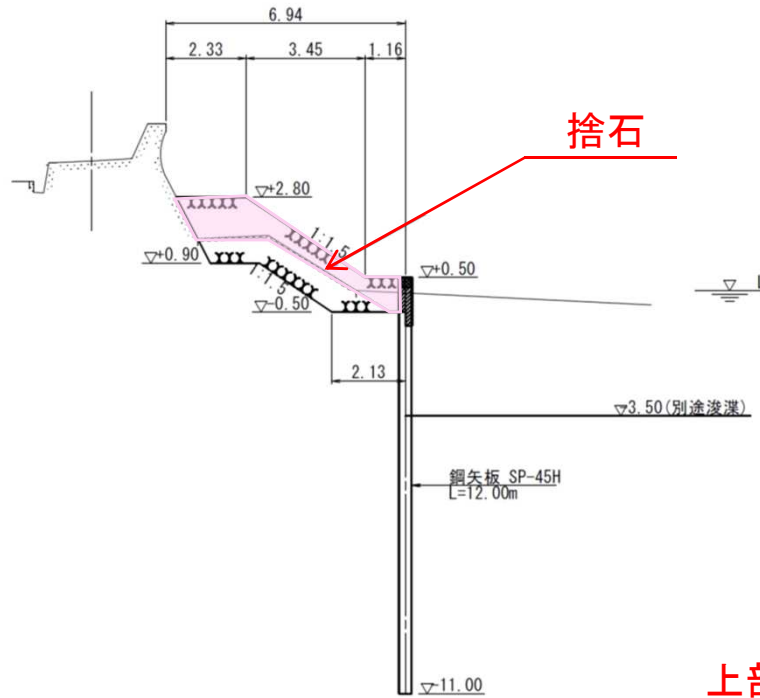
事業概要(大島港)



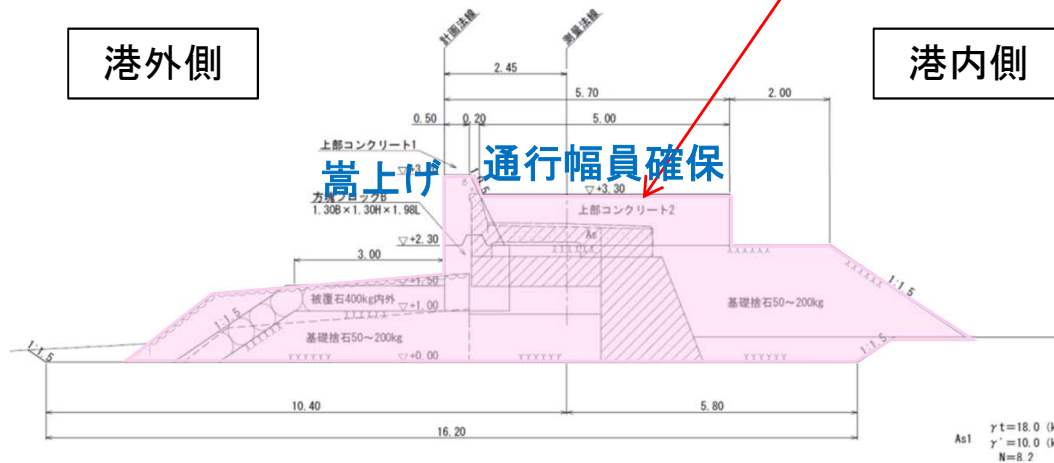
事業概要(大島港/護岸・防波堤)

標準断面図及び整備状況

護岸



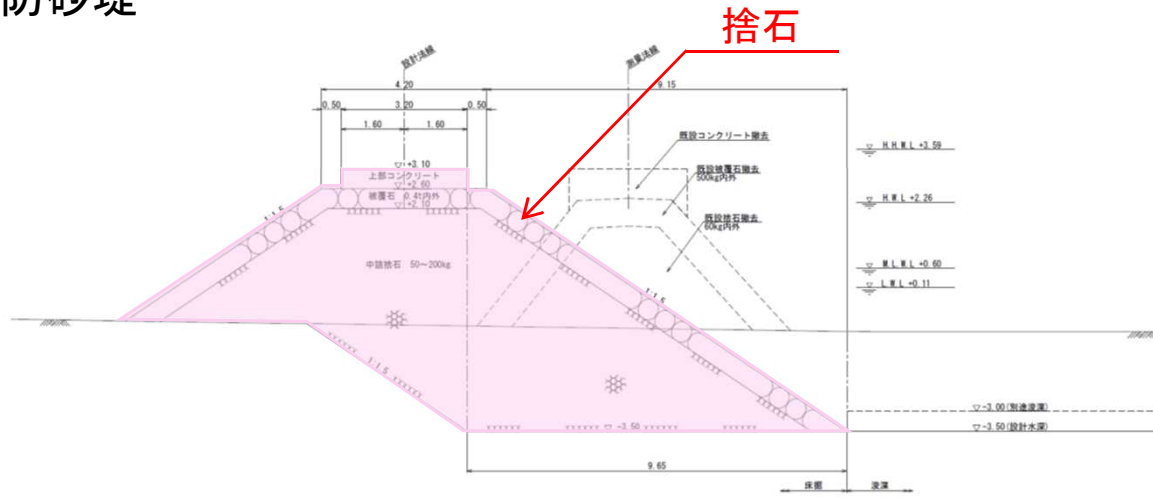
防波堤



事業概要(大島港/防砂堤・物揚場)

標準断面図及び整備状況

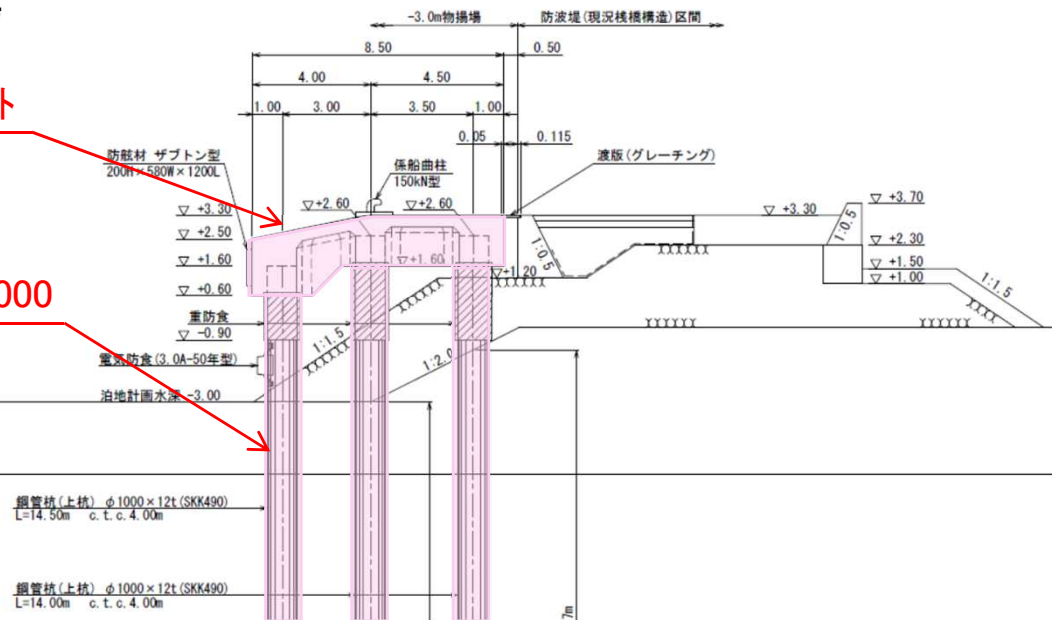
防砂堤



物揚場

上部コンクリート

鋼管杭 φ1000

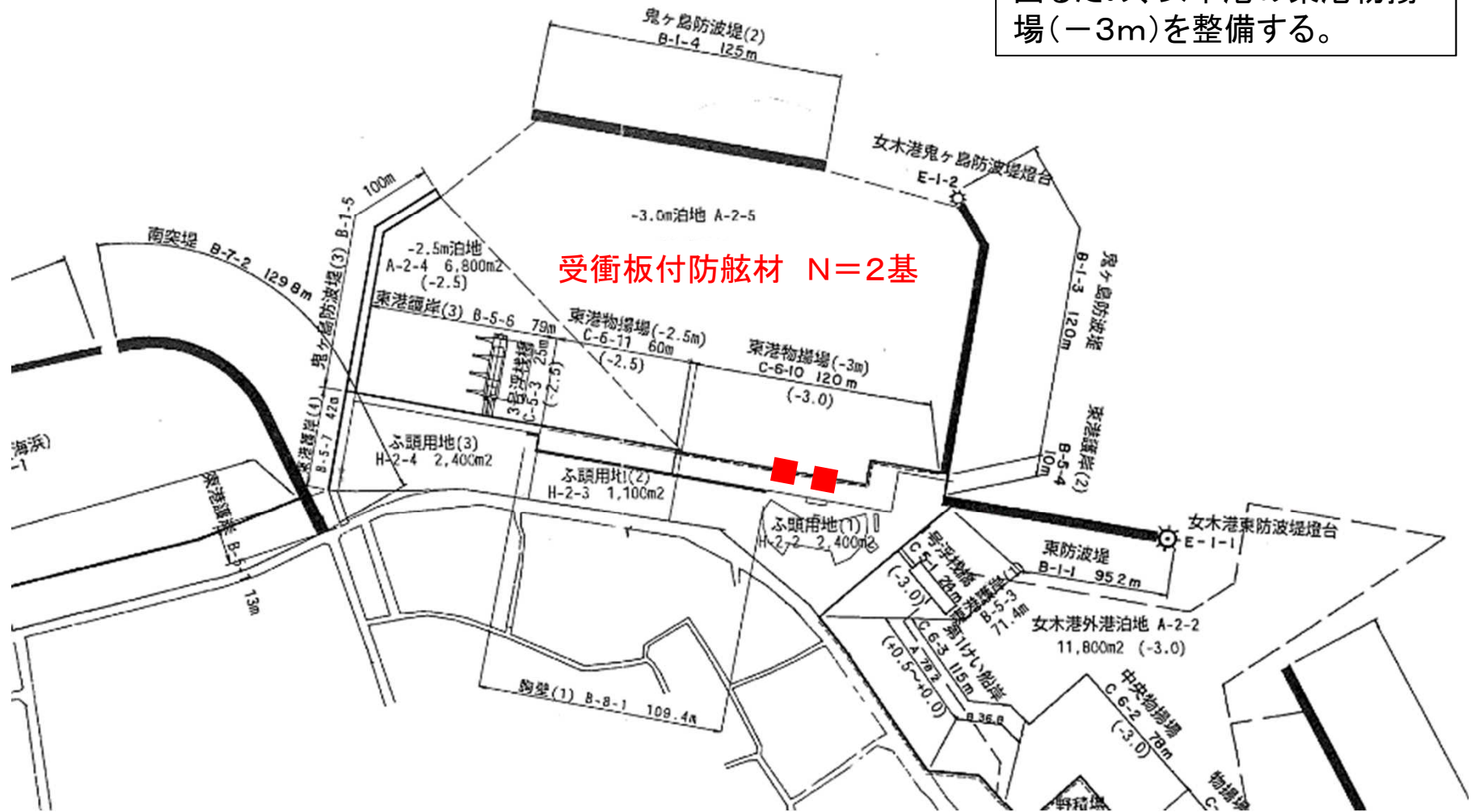


未整備

物揚場
整備予定

事業概要(女木港)

【整備の目的】
本土と離島との交流を促進を
図るため、女木港の東港物揚
場(-3m)を整備する。

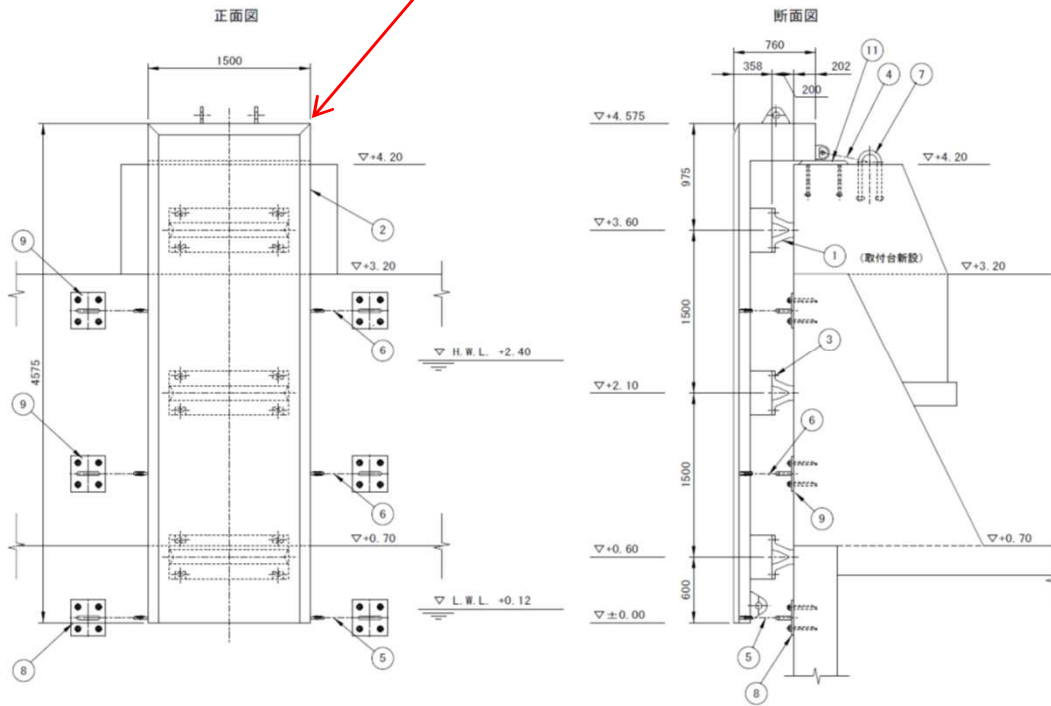


事業概要(女木港/物揚場)

標準断面図及び整備状況

物揚場

受衝板付防舷材
W1500 × L4575



事業概要(男木港)

【整備の目的】
本土と離島との交流を促進を
図るため、男木港の1号物揚場
を整備する。

文字防波堤灯台

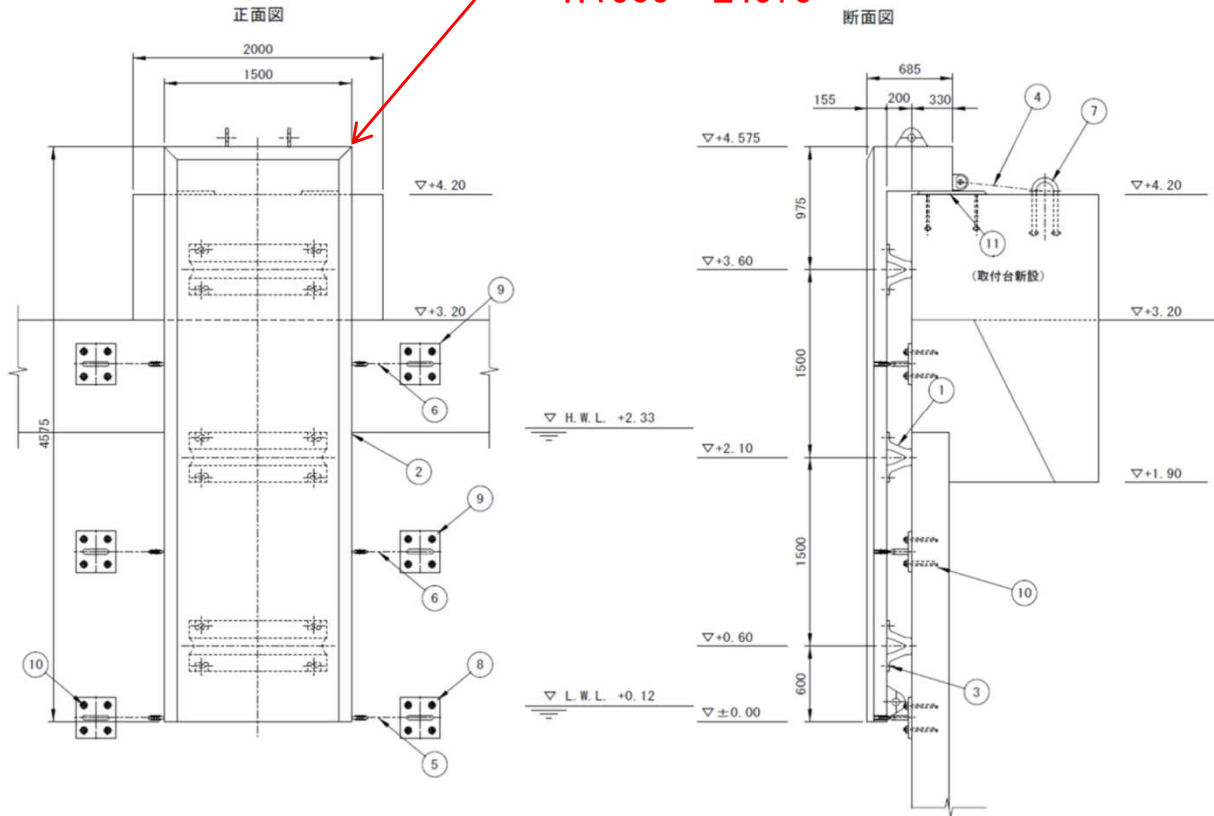


事業概要(男木港/物揚場)

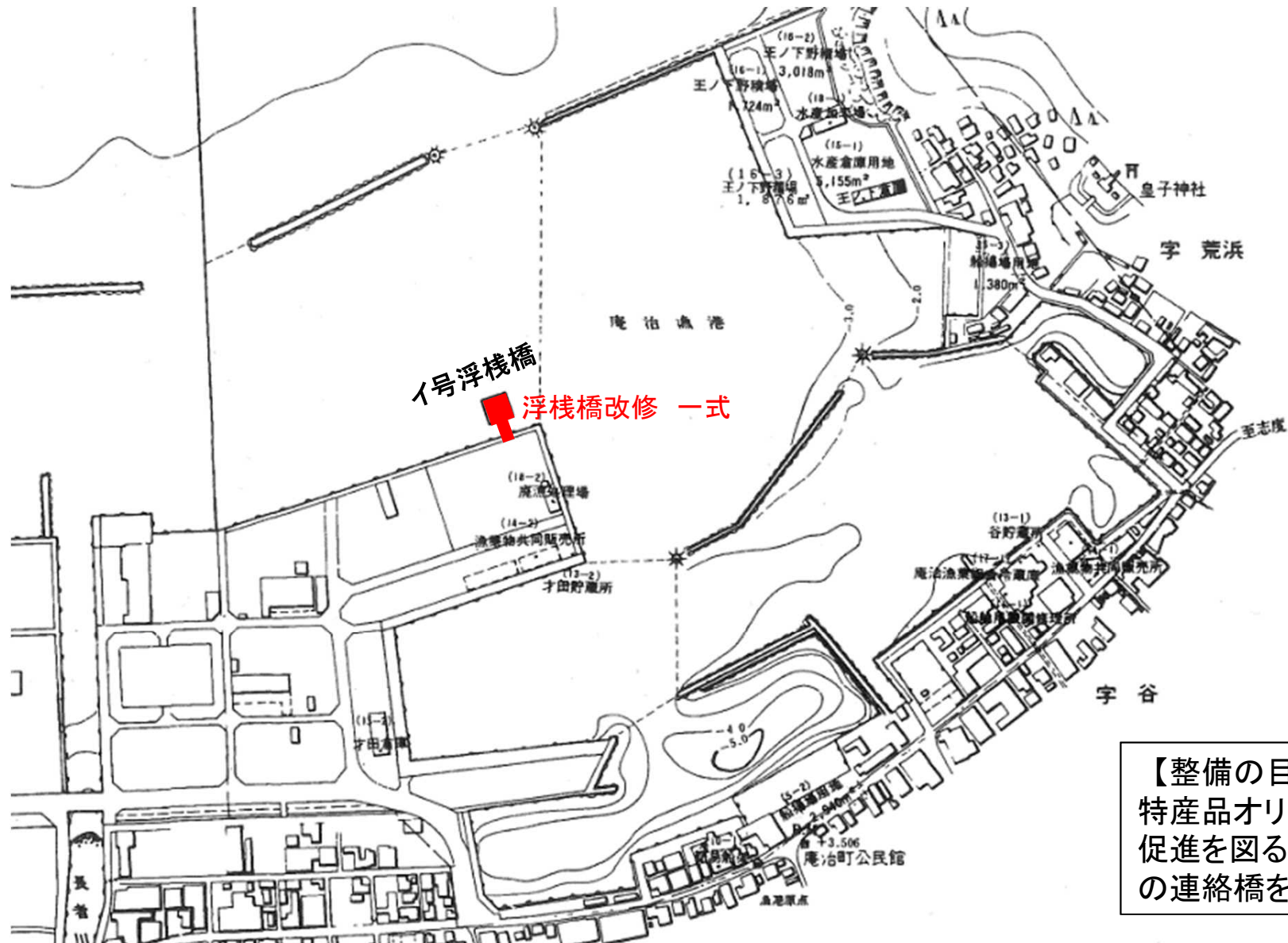
標準断面図及び整備状況

物揚場

受衝板付防舷材
W1500 × L4575



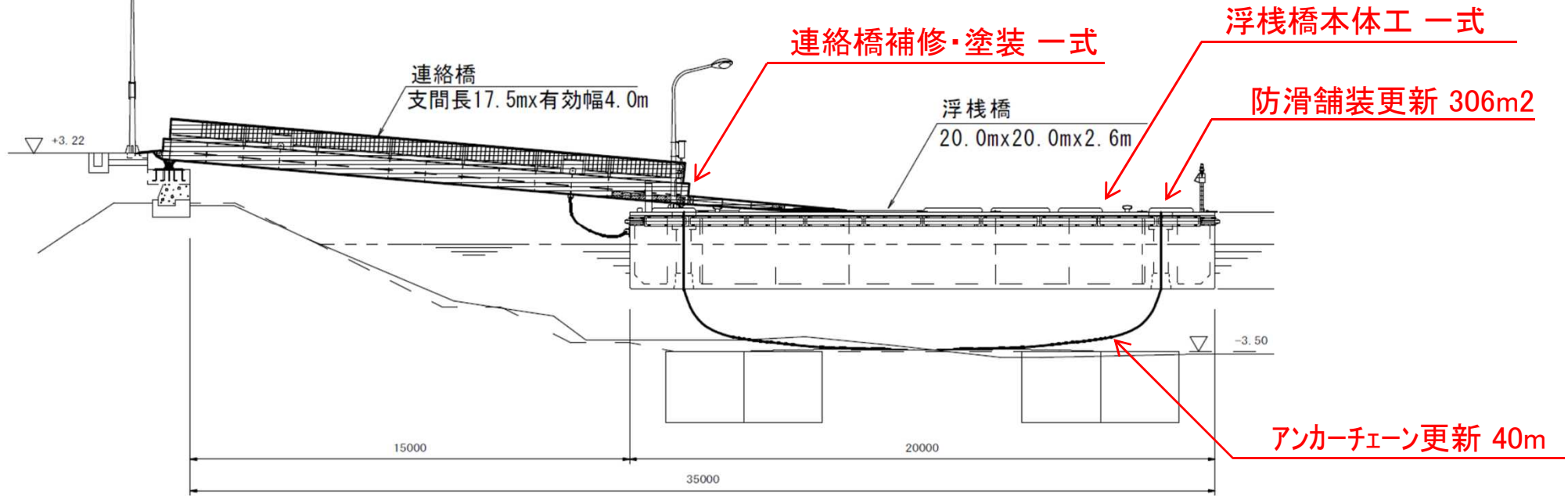
事業概要(庵治漁港)



【整備の目的】
特産品オリーブハマチの生産促進を図るため、イ号浮棧橋の連絡橋を改修する。

事業概要(庵治漁港/浮棧橋)

標準断面図及び整備状況



地域再生計画(地方創生港整備交付金)事前評価調査

1. 地域再生計画の概要

地域再生計画の名称	文化と芸術が織りなす活力あるみなとづくり計画		
地域再生計画の区域	香川県高松市の区域の一部		
地域再生計画の作成主体の名称	香川県、高松市	計画期間	R3 ~ R7
道、汚水処理施設、港の整備事業(3整備事業)の概要			
[施設の事業主体] 港湾 高松市、漁港 高松市 [事業期間] 港湾 令和3年度～令和7年度、漁港 令和3年度～令和4年度 [整備量] 港湾 防波堤改良 一式、物揚場改良 一式、泊地浚渫 一式、防舷材改良 6基 漁港 浮棧橋改良 一式 [事業費] 総事業費 782,950千円(うち交付金 504,824千円)、港湾 742,950千円(うち交付金 484,824千円)、漁港 40,000千円(うち交付金 20,000千円)			

2. 地域再生計画の有効性・効率性

地方創生推進交付金(3整備事業)により、2以上の施設整備を総合的に行う必要性・効率性
・高松市は観光振興及び漁業振興の観点から、港湾・漁港整備の必要性が非常に高くなっているが、個々の施設整備のみでは効果が限定的となることが想定されたため、地方創生推進交付金の特徴である2以上の施設整備を総合的に行うこと、及び、複数年度の計画の認定が行われることが高松市のニーズと合致していた。 ・さらに、港湾と漁港の総合的な整備により、船舶の安全な離接岸を確保することで来島者の増加、来島者等の観光客への地域水産物の安定供給をさせるとともに、同時期に事業効果が発現することによる相乗効果も期待できることなどから、事業実施の効率性、有効性が高いとして、本交付金の活用による計画申請を行うこととしたものである。
地域再生の目標に対する地方創生推進交付金(3整備事業)の寄与
①男木島、女木島、大島への来島者：離島の玄関口である港湾及び水産特産品を供給している漁港を整備することで、来島者の増加を見込む。 ②庵治漁港の陸揚げ量：漁業従事者が安心安全に利用できる漁港、水産物を離島へ供給する港湾を整備することで、陸揚げ量の減少に歯止めをかける。
地方版総合戦略等の上位計画や他省庁の交付金事業の計画等との整合性
・第2期たかまつ創生総合戦略において、【基本目標5】持続可能なまちを創る、5-(6)参画・協働によるコミュニティの再生、5-(6)-②離島の振興 にて、各島の生活圏域としての機能を維持するため、航路の確保と利便性の向上に取り組むと定められており、また、【基本目標1】創造性豊かで人間中心のまちを創る、1-(1)参地域を支える産業の振興と経済の活性化、1-(1)-⑤生産の振興 において、「とる漁業」から「つくり育てとる漁業」への転換を一層進め、漁場の再生や資源管理に取り組むと定められている。 ・高松市の第6次高松市総合計画では、【施策の方針】4 安全で安心して暮らし続けられるまち、3-③ 河川・港湾の整備【取組方針】2漁港・港湾施設の適正な維持管理において、漁港・港湾施設の効率的かつ計画的な維持管理に取り組むと定められている。
地域再生の目標達成に向けたソフト事業等関連事業との連携・組合せの状況
男木島、女木島、大島への来島者や庵治漁港の陸揚げ量といった地域再生の目標達成に向けて、事業の内容を検討した結果、以下の関連事業との連携・組合せを予定しており、本事業による政策効果を大きく高めることが期待される。 ①男木島、女木島、大島への来島者：瀬戸内国際芸術祭や瀬戸内国際芸術祭のPR・関連イベントによる知名度の向上 ②庵治漁港の陸揚げ量：庵治漁港「活き活き日曜市」の開催、オリーブハマチ等の水産物のブランド普及拡大事業

3. 地域再生計画の目標

地域再生計画に記載した目標	指標	単位	基準値	中間値	目標値	目標算出の根拠	
目標1	男木島、女木島、大島への来島者	年間来島者数の増加	万人	H30年度 13.3	R5年度 13.4	R7年度 13.7	離島への観光客数は12.6万人(平成26年)から13.3万人(平成30年)と増加傾向にある。本事業の実施により、離島の玄関口である男木港、女木港、大島港の利便性、安全性が向上され、庵治漁港からの水産特産品の安定供給により、観光資源の一つとして認知してもらい、来島者数の増加が見込まれることから、13.7万人(令和7年)と目標を設定した。
目標2	庵治漁港の陸揚げ量	陸揚げ量の維持	t/年	H30年度 1,778	R5年度 1,778	R7年度 1,778	陸揚げ量は2,488t/年(平成26年)から1,778t/年(平成30年)と大幅な減少傾向にある。本事業の実施により、漁業従事者が安心安全に利用できる漁港、水産物を離島へ供給する港湾が整備されることで、陸揚げ量の維持が見込まれることから、1,778t/年と目標を設定した。
目標3							
目標4							

4. 道、汚水処理施設、港の整備事業

種別	施設名称	事業期間	整備量 (km)	事業費 (千円)	交付金 (千円)	当該地域における必要性、事業の優先度	地域再生計画目標への寄与
港湾		R3 ~ R7	一式	742,950	484,824	—	—
	大島港	R3 ~ R5	一式	582,950	404,824	施設の老朽化が著しく、また、フェリーの発着場がないため、フェリー誘致には改良が必要となっている。	フェリーの発着場が整備されることにより、利便性が向上され、来島者の増加が期待できる。
	女木港	R3 ~ R7	3基	80,000	40,000	定期船等発着場施設の老朽化が著しく、来島者の安全性の確保及び航路存続ため改良が必要になっている。	防舷材改良により、来島者の安全性が向上され、航路が存続されることから観光客の増加が期待できる。
	男木港	R6 ~ R7	3基	80,000	40,000	定期船等発着場施設の老朽化が著しく、来島者の安全性の確保及び航路存続ため改良が必要になっている。	防舷材改良により、来島者の安全性が向上され、航路が存続されることから観光客の増加が期待できる。
漁港		R3 ~ R4	一式	40,000	20,000	—	—
	庵治漁港	R3 ~ R4	一式	40,000	20,000	浮桟橋の老朽化が著しく、漁業従事者の利便性の確保ため改良が必要になっている。	浮桟橋改良により、漁業従事者の利便性が向上され、地域水産物の安定供給が期待できる。
地方創生道整備推進交付金全体		R3 ~ R7	一式	782,950	504,824	—	—
2以上の施設の総合的な整備による路線選定や路線配置の効率性							
<p>男木港、女木港、大島港及び庵治漁港を総合的に整備することにより以下のような効率性が発揮される。</p> <p>①男木島、女木島、大島への来島者：離島の玄関口である港湾を整備することにより、利便性が向上、庵治漁港の整備による水産特産品の安定供給が同時期に図られることから、地域経済の活性化が期待できる。</p> <p>②庵治漁港の陸揚げ量：漁業従事者が安心安全に利用できる漁港、水産物を離島へ供給する港湾を整備することで、陸揚げ量を歯止めが期待できる。</p>							

5. 事業の実施状況に関する客観的な指標(重要業績評価指標)

重要業績評価指標		単位	基準年	1年度後	2年度後	3年度後	4年度後	5年度後	重要業績評価指標算出の根拠
指標1	女木港の定期航路の便数の維持	便/日	R2 6	R3 6	R4 6	R5 6	R6 6	R7 6	女木港は定期航路が就航しており、現状の便数を維持することで来島者数の増加につながる。
	男木港の定期航路の便数の維持	便/日	R2 6	R3 6	R4 6	R5 6	R6 6	R7 6	男木港は定期航路が就航しており、現状の便数を維持することで来島者数の増加につながる。
	大島港の定期航路の便数の維持	便/日	R2 13	R3 13	R4 13	R5 13	R6 13	R7 13	大島港は定期航路が就航しており、現状の便数を維持することで来島者数の増加につながる。
指標2	陸揚げ量の維持	t/年	R1 1,778	R3 1,778	R4 1,778	R5 1,778	R6 1,778	R7 1,778	漁業従事者の利便性が向上されることにより、地域水産物の安定供給が期待できる。

6. 円滑かつ確実に実施される見込み

本計画における港の整備事業に関しては、地元住民のニーズの高さから合意形成が十分図られるなど地元の機運が醸成されているとともに、地元関係者との内諾が得られているなど、整備事業が円滑かつ確実に実施される見込みである。

7. 事業実施に当たっての計画主体によるPDCAサイクルの整備

本整備事業の実施に際しては、地域再生計画に基づき、交付金事業としては「事業の実施状況に関する客観的な指標」により事業の実施状況を毎年度確認するとともに、地域再生計画としては「地域再生の目標」により関連事業も含めた計画全体の目標の達成状況を中間年度及び事業完了後に確認することとしている。事業期間中にそれらの指標や目標の達成状況がかんばしくない場合は、その要因を精査するとともに、要因に対する十分な対策を採ることとし、必要に応じてスケジュールや事業量の見直しなどの計画変更についても検討することとする。

8. 総合評価

本地域再生計画の目標である観光振興や漁業振興の達成に向けては、港湾及び漁港の一体的な整備は必要不可欠であり、地元住民からのニーズも高い。加えて、総合的整備による相乗効果の発揮も期待されることから本交付金制度を活用するメリットは大きいと考えられる。さらには、目標達成に向けてソフト事業等の関連事業との連携・組合せを行う予定としており、本事業の実施による政策効果を更に高めることが期待される。また、地元関係者からの要望が強いため、本事業が確実に実施される見込みであるが、計画において地域再生の目標や重要業績評価指標の評価を適正に設定しており、事業実施中も進捗の評価や必要に応じて対策や軌道修正を行うことが可能となっている。以上のことから、地方創生推進交付金を活用して港の整備事業を行う本地域再生計画を実施する意義は大きいと評価する。